『Codomo-Resucue』 署名内容に関して

「署名用紙2種（内閣、福島県知事宛・地方自治宛）、活動主旨2種」

★署名を集めるには？

一人でも多くの声を国に、地方自治体に届けるため、署名へのご協力をお願いします。

署名は（署名用紙A）だけでも（署名用紙B）だけでも、（両方）でも可能です。

【1】 個人で署名をする

署名用紙をダウンロード → 署名 → 宛先(私書箱)に郵送

【2】 署名活動をする

署名用紙をダウンロード → 各自で署名活動(家庭・職場・街頭など) →

→ 総署名人数を明記の上、集まった署名を宛先(私書箱)に郵送

注意事項

・街頭での署名活動の際は、道路交通法に反したり通行人の迷惑にならないようにご注意ください。
それぞれの署名活動の責任は個人となります。
署名活動中のいかなるトラブルについても『Codomo-Rescue』は責任を負いかねます。

・**国政選挙期間中は、あらゆる署名活動が禁止されています。**
『Codomo-Rescue』はこの期間、一切の署名活動を行いません。
署名を集めて頂く方々は、国政選挙期間中に署名活動を行わないようお願いします。
また国政選挙期間中に行われた署名運動に関しては、『Codomo-Rescue』とは関わりのないものと致します。

・ダウンロード、印刷、郵送などは、各自の負担でお願いします。

『Codomo-Rescue』（コドモレスキュー）

◆web site◆ http://www.codomo-rescue.net/ ◆E-mail◆ info@codomo-rescue.net

郵送先：〒573−8799 大阪府枚方市大垣内町2丁目10番5号

郵便事業株式会社 枚方支店私書箱第15号 『Codomo-Rescue』 平野宛

※ 上記送付先宛に署名の原本を送って下さい。

※ 署名を送って頂く際には、総署名人数がわかるメモをつけて下さい。

※ 署名の個人情報は、政府・福島県知事、地方自治体に提出する以外の目的では使用致しません。

※ 郵送の際には、郵便局で取り扱える方法で郵送して下さい。宅急便等では郵便局には届きませんのでご注意下さい。

『Codomo-Rescue』とは （http://www.codomo-rescue.net/）

東京電力福島第一原発で人類史上最悪な原子力発電所事故が発生し、2年7ヶ月の月日が経過しました。
事故発生後の日本政府の対応は、一番弱い存在である”子どもを守る”には程遠い状態です。

法律で決められていた年間の放射線被曝許容量は20倍に引き上げられ、
放射線管理区域に指定しなければならないような場所、もしくはそれ以上の高濃度汚染地域で、
子どもたちは、今も日常生活を送ることを強いられています。
そして食品に含まれる放射性物質に対しての新基準はとてつもなく高い数値に設定されてしまいました。

その恐ろしく高い基準値は、今もなお改められておらず、子どもたちを内部被曝の危険に晒す
放射性物質の含有率は今後もっと増える恐れがあります。

現在、事故を起こしてしまった福島第一原子力発電所から毎時1000万ベクレル、
1日で2億4千万ベクレルもの放射性物質が放出され続けています。（※東電発表）
事故収束のメドは全く立っておらず、現在も原子力緊急事態宣言は発令されたままです。（※13/10/17現在）
福島県をはじめ、東日本広域の子どもの被曝の危険の問題は、何も解決していません。

私達が何よりも大切な事と考えているのは、この国の未来である”子どもを守る”という事。

日本のメディアが報じない、これらの問題を多くの人が知り、共有し、解決策を見出せるように、
そして原子力発電所の事故により避難された方々の避難先での繋がりが署名活動を通じて
広がっていくように、『Codomo-Rescue』は活動していきます。

『Codomo-Rescue』は、2013年10月17日より活動を開始します。

まずは1筆でも多く署名を集め、国や地方自治体に届けます。
多くの方のご賛同、ご協力を何卒よろしくお願い致します。

『Codomo-Rescue』 発起人一同
発起人：植木宏、小澤弘邦、橘内芳雅、齋藤夕香、鈴木真理、西片嘉奈子
平野大輔、藤井葉子、山口直久、山本太郎 （50音順）

◆◆◆『Codomo-Rescue』の署名に関しての説明 ◆◆◆

◎**『Codomo-Rescue』の署名用紙は2種類**あります。

Q1：なぜ署名用紙が2種類あるの？

A1：内閣総理大臣、福島県知事には放射能の汚染地域からの子どもの避難を求めると同時に、各都道府県議会で議題として検討、対応してもらえるよう、各自治体単位でできる支援の輪を広げてもらう事を目的としています。
署名は（署名用紙A）だけでも（署名用紙B）だけでも、（両方）でも可能です。
『Codomo-Rescue』のHPよりダウンロードして下さい。集めて頂いた署名用紙は、記載された郵送先まで郵送して下さい。

Q2：地方自治体の提出先に関して。どこに提出しますか？誰が提出しますか？

A2：まずは避難者が比較的多い、京都府、長野県の地方自治体に署名を提出します。頂いた署名は『Codomo-Rescue』の発起人のいずれかが署名提出に同行し、地方自治体に届けます。提出先の自治体は順次追加予定です。
また、『Codomo-Rescue』の活動趣旨に賛同頂き、署名を集めて下さる方や、
議会に署名を提出する際に同行し、一緒に思いを届けて下さる方を募集しています。

◆◆◆注意事項◆◆◆

・国政選挙期間中は、あらゆる署名活動が禁止されています。
『Codomo-Rescue』はこの期間、一切の署名活動を行いません。
署名を集めて頂く方々は、国政選挙期間中に署名活動を行わないようお願いします。
また国政選挙期間中に行われた署名運動に関しては、『Codomo-Rescue』とは関わりのないものと致します。

『食の安全基準、絶対おかしい！！』

政府は2012年春より食品の基準を
「1キロあたり100ベクレル」にしました。
事故前の1キロあたり100ベクレルは
「放射性廃棄物」として黄色のドラム缶に入れ
厳重に管理しなければならなかった基準値。
原発事故が起こる前、私達が食べていたのは、
大半のものが、0.1〜0.2ベクレルでした(1)。現在の基準は、
事故前に私達が食べていた食品の約1000倍に相当します。
こんな基準の食べものを子どもに食べさせられますか？

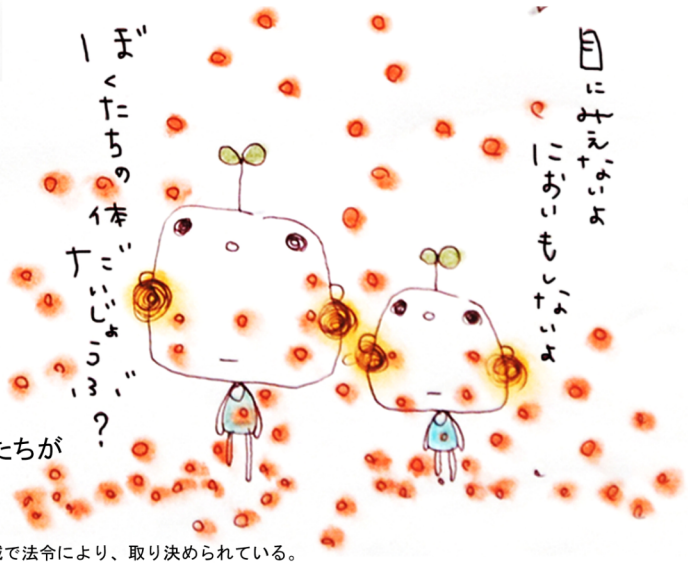
(1) 2010年度に文部科学省の委託を受けて福島県が実施した環境放射能水準調査（東京電力福島原発事故前まで）によるデータ

『放射能の被害は東日本一帯！？』

放射線管理区域レベル（本来居てはいけない場所）に
子どもたちがずっと生活している！！！
放射線管理区域は18歳未満は立入禁止！
寝食禁止！腕まくりもダメ！
原発事故以降、そのような場所で、
子どもたちが生活することを強いられています。
このような場所で、子どもたちが生活していいと思いますか？

『え？原発が爆発したら20倍に？』

政府は、原発事故前は『年間1mSv』だった年間被曝許容量を
事故後、『年間20mSv』まで引き上げました。
あなたの体は20倍も強くなりましたか？
放射線管理区域(2)ですら『年間5mSv』です。
『年間20mSv』は、そのプロレベル（放射線業務従事者）の4倍！
放射線の感受性が大人よりも数倍も高いと言われている子どもたちが
このような場所で生活することは危険です！！



（２）放射線管理区域とは、放射線による障害を防止するために設けられる区域で法令により、取り決められている。
【目的】人が放射線の不必要な被ばくを防ぐため、放射線量が一定以上ある場所を明確に区域し人の不必要な立ち入りを防止するために設けられる区域。

2011年3月に発生した福島第一原発事故以来、放射能に関する基準が上記のように大幅に引き上げられました。
それは現在も変わっておらず、放射能に対する感受性の高い妊婦、乳幼児、子どもにまで、その基準は適用されました。
その高すぎる基準を、少なくとも事故前の基準に戻すべきです。
そして、高濃度汚染地域に住む子どもを、放射線量の低い場所に1日でも早く避難させるべきです。

このパンフレットを読んで、賛同して頂いた方は別紙の署名用紙（署名用紙A）（署名用紙B）の署名にご協力下さい。
また署名を集めて頂ける方は署名用紙をダウンロードして署名を集め、記載された住所まで郵送して下さい。
※署名の個人情報は、政府・福島県知事宛、地方自治体に提出する以外の目的では使用致しません。

内閣総理大臣　安倍　晋三　様
福島県知事　　内堀　雅雄　様

（署名用紙A）

第六次〆切：15/6/30　※〆切が過ぎても署名用紙は有効
（その後も署名を継続します。第六次〆切以降は順次お伝えします。）
（署名用紙が足りない場合、コピーしてお使い下さい。）

1）東日本広域の空間線量調査、土壌検査を実施し、放射線管理区域（0．6マイクロシーベルト／時、1平方メートル当たり4万ベクレル）に相当する場所から、子ども、乳幼児と妊婦を早急に避難させること。（東日本広域の土壌を細かく核種検査し、放射能汚染状況を速やかに公表し対策を講じる事）

2）年間被曝許容量を事故前の年間1ミリシーベルトに戻し、年間1ミリシーベルトを超える地域の移住希望者、及び自主避難者に避難の権利を与え補償すること。

3）食品の安全基準に関してより厳しい基準を適用すること。 福島第一原子力発電所事故以前に放射性廃棄物とされていた数値の1キログラムあたり100ベクレルという食品の基準値を見直すこと。
また、食品の全量検査を実施し、食品のベクレル表示の義務化（すべての核種に関しても厳しく計測）すること。

・高放射線量地域は勿論、内部被曝、低線量被曝に関して、過小評価しないこと（放射能被害にしきい値はない）

とりわけ懸念されている、放射線に弱いとされる子ども、乳幼児、妊婦に対し、今なお「放射線管理区域」の数値に相当するような場所で、原発事故以後、ずっと生活をさせ続けている状況を改善する事。早急に、放射線の影響のない地域へ避難させること。
避難者の新規受け入れ再開、避難先での借り上げ住宅手当の延長、就労斡旋、無償での被曝医療の提供等、
避難者の目線に基づいた十分な救済策を講ずることを強く求めます。

署名日	氏名	住所　（同上、〃　不可）	捺印又はサイン
実現へ向けたコメント（任意記入）			
月　　日			印
月　　日			印
月　　日			印
月　　日			印
月　　日			印
月　　日			印
月　　日			印
月　　日			印
月　　日			印
月　　日			印

郵送先：〒573−8799大阪府枚方市大垣内町2丁目10番5号　郵便事業株式会社枚方支店 私書箱第15号 『Codomo-Rescue』平野宛

※郵送の際には、郵便局で取り扱える方法で郵送して下さい。宅急便等では郵便局には届きませんのでご注意下さい。

◆注意◆国政選挙期間中は、あらゆる署名活動が禁止されています。この期間一切の署名活動を行いません。　（http://www.codomo-rescue.net/）

全国都道府県議会議長会　様
都道府県議会　市区町村議会　様

（署名用紙B）

第六次〆切：15/6/30　※〆切が過ぎても署名用紙は有効

（その後も署名を継続します。第六次〆切以降は順次お伝えします。）

（署名用紙が足りない場合、コピーしてお使い下さい。）

「子どもたちを助けて下さい！自主避難者に愛の手を！」と
政府に対し再三に渡り交渉して参りましたが、まったく埒があきません。
現在ギリギリの生活をしている自主避難者や、危険な場所で生活せざるをえない
子どもたちの目線に立ち彼らを助けるために手を差しのべてください

〇自主避難者への住宅、就労サポート（活用可能な住宅のサポート）
〇託児施設の充実（コミュニティースペースでの地域住民と避難児童との交流、等）
※住民票の移動なしで保育所に通えないため
〇避難者の新規受け入れ再開　など

署名日	氏名	住所　（同上、〃　不可）	捺印又はサイン
実現へ向けたコメント（任意記入）			
月　日			印
月　日			印
月　日			印
月　日			印
月　日			印
月　日			印
月　日			印
月　日			印
月　日			印

郵送先：〒573−8799大阪府枚方市大垣内町2丁目10番5号　郵便事業株式会社枚方支店 私書箱第15号 『Codomo-Rescue』平野宛

※郵送の際には、郵便局で取り扱える方法で郵送して下さい。宅急便等では郵便局には届きませんのでご注意下さい。

◆注意◆国政選挙期間中は、あらゆる署名活動が禁止されています。この期間一切の署名活動を行いません。　（http://www.codomo-rescue.net/）